

大修館書店はなぜ “eTextbooks.jp”を 始めるのか？

2021/03/03 日本電子出版協会セミナー
大修館書店 デジタル事業開発部 山口隆志

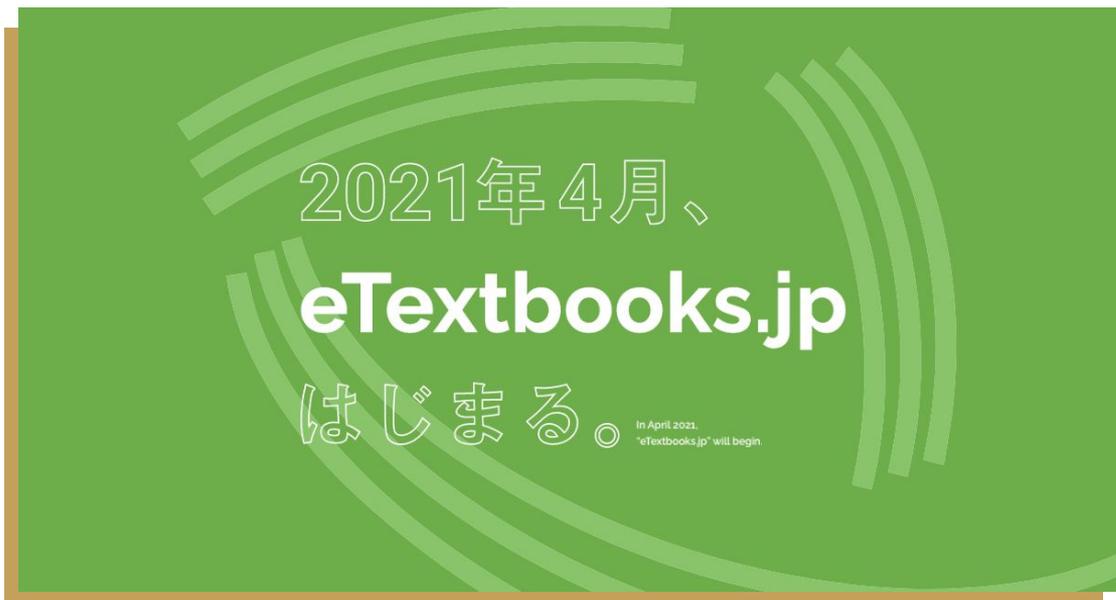
大修館書店について

- 1918年創業
- 現在の主な商品群
 - 辞書／教科書／単行本
 - デジタルでは...
 - 辞書データ
 - 中・高向けデジタル教科書
 - 電子書籍(大学図書館向け)



本日の流れ

1. サービスの概要
2. 立ち上げの背景
3. サービスの詳細
4. 手ごたえと課題
5. 出版社の皆様へ



大修館書店はなぜ
“eTextbooks.jp”を
始めるのか？

1. サービスの概要

2. 立ち上げの背景
3. サービスの詳細
4. 手ごたえと課題
5. 出版社の皆様へ

eTextbooks.jp

=大学向け電子教科書配信サービス

- 対象を大学教科書に限定
- 電子書籍配信+ライセンス管理+ビューアの三位一体
 - ライセンス=ID/PASSではない
 - 決済機能はない
- 書店経由で販売・導入



大修館書店はなぜ
“eTextbooks.jp”を
始めるのか？

1. サービスの概要

2. 立ち上げの背景

3. サービスの詳細
4. 手ごたえと課題
5. 出版社の皆様へ

コロナ、襲来

▶ 2020年春に起きたこと

- 入構禁止
- 物流停滞
- 売り逃し
- 採用減へ



▶ 今後起こりうること

- 自作教材の積極的な活用
- 教科書の存在意義喪失

確実に教科書を届けるために

▶ クリアすべき課題

- 物流停滞へのリスクヘッジ
- 各所に分散する学生への供給



なぜ自前なのか？

▶ Kindleでもいいのでは...

- 制御不可能
 - 価格
 - 料率
 - 販売管理
 - 学習ログ

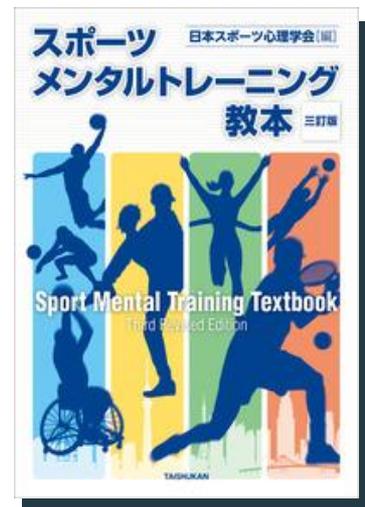
▶ 書店のビューアでも...

- 網羅不可能
 - 温度差あり
- 導入形態が多様
 - 全学単位か講義単位か

なぜ自前なのか？～その2

▶ 自社の強み

- スポーツ・体育系教科書の充実
- 中・高でのデジタル教科書運用実績



大修館書店はなぜ
“eTextbooks.jp”を
始めるのか？

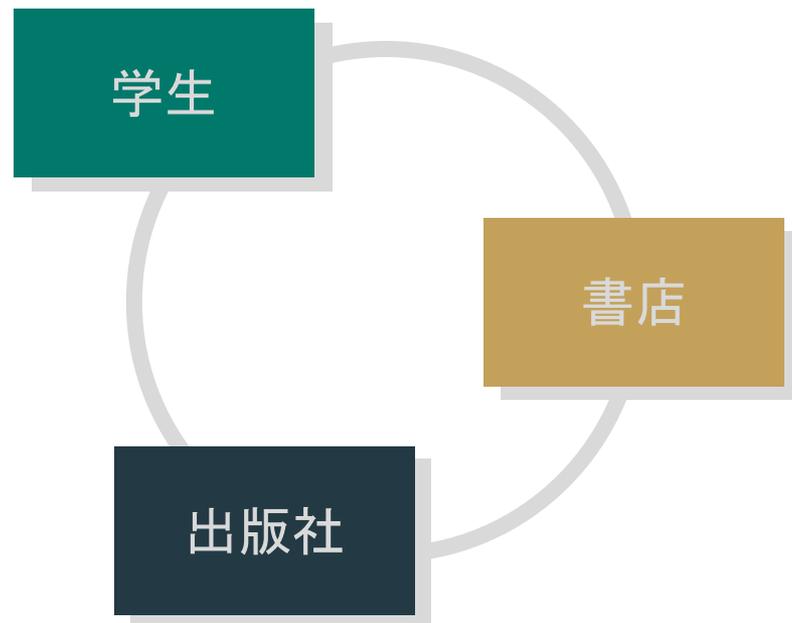
1. サービスの概要
2. 立ち上げの背景

3. サービスの詳細

4. 手ごたえと課題
5. 出版社の皆様へ

電子教科書の届け方

1. 学生 ▶ 書店へ注文
2. 書店 ▶ 出版社へ発注
3. 出版社 ▶ 書店へシリアルコード発行
4. 書店 ▶ 学生へシリアルコード配布
5. 学生 ▶ 書店へ支払い
6. 学生 ▶ eTextbooks.jpへログイン
7. 学生 ▶ eTextbooks.jpでシリアルコード入力



ログインと シリアルコード

powered by
超教科書
クラウド

eTextbooks.jp
powered by 超教科書クラウド

eTextbooks

IDを入力してください

パスワードを入力してください

学生は何らかのIDでログイン
* eTextbooks.jp独自のIDでも大学から
割り当てられたメールアドレスでも可

eTextbooks.jp powered by 超教科書クラウド

YAMAGU...

本を追加してみましょう

教科書のシリアルコードを入力
* 一人1シリアルコード
* シリアルコード入力は1回のみ



電子教科書の閲覧が可能に

ビューア機能

1. 書き込み
2. 超しおり
3. ウェブ・資料のリンク
4. 固定レイアウト
5. クラウド利用
6. 書籍内検索

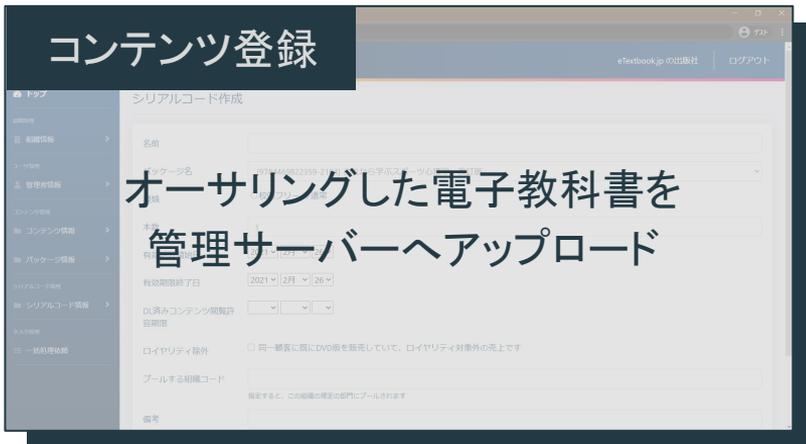


コンテンツ登録と ライセンス発行

コンテンツ登録

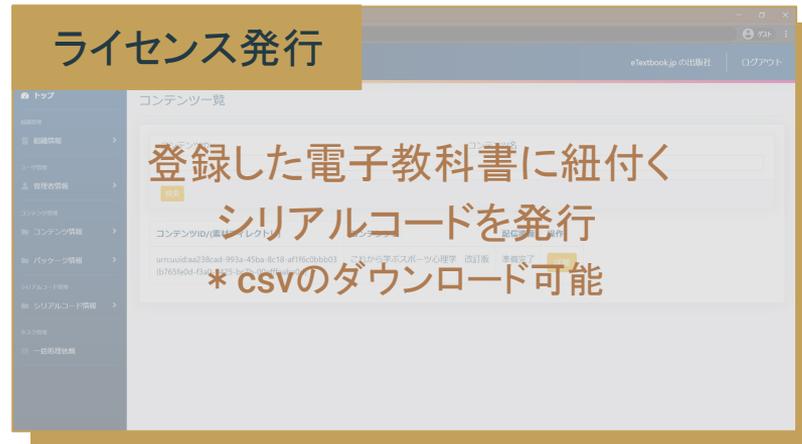
シリアルコード作成

オーサリングした電子教科書を
管理サーバーへアップロード



ライセンス発行

登録した電子教科書に紐付く
シリアルコードを発行
* csvのダウンロード可能



大修館書店はなぜ
“eTextbooks.jp”を
始めるのか？

1. サービスの概要
2. 立ち上げの背景
3. サービスの詳細

4. 手ごたえと課題

5. 出版社の皆様へ

手ごたえ

- ❑ 当たり前前に待ち望まれていた
 - ❑ 第一声は「もうそういう時代だよね」
- ❑ 著者への営業は効果大
 - ❑ 著者＝購買決定権者とのパイプを生かす
- ❑ 自社の方針で動きやすい
 - ❑ 売れるもの・売りたいものから動ける

課題

- ❑ キャンパスの**ICT整備**が進んでいない
 - ❑ Wi-Fiの繋がらない教室が多数存在
- ❑ 電子教科書を使った**講義例**はこれから
 - ❑ トライアルからのスタートも視野に
- ❑ シリアルコードをどう**配布**するか
 - ❑ 圧着はがき等での提供も選択肢に

大修館書店はなぜ
“eTextbooks.jp”を
始めるのか？

1. サービスの概要
2. 立ち上げの背景
3. サービスの詳細
4. 手ごたえと課題

5. 出版社の皆様へ

eTextbooks.jpをともに活用してく
ださる出版社を募集します

協業の枠組み

出版社

- 各社でオーサリング・ライセンス発行
- 書店との取引条件も各社ごとに決定

ビューア&システム提供



サービス利用料・
電子教科書登録料支払い

大修館

- ビューアの運用・管理
- 配信・オーサリングシステムの運用・管理
- 各社運用時のサポート

超教科書
クラウド

eTextbooks.jpご利用料金

【標準プラン】

	タイプA *登録点数 20点以下	タイプB *登録点数 21点以上
サービス利用料	10万円 *両タイプ共通	
電子教科書登録料	18万円/年 × 点数	個別相談
追加登録料	《シリアルコード発行数が1点で1万を超える場合》 1点あたり別途数万円/年	

eTextbooks.jpご利用料金 【お試しプラン】

- サービス利用料: **無料**
- 電子教科書登録料:
 - **3.6**万円/年 × 点数

《付帯条件》

- 登録は **10**点まで
- 初年度 **1**年間限りの施策

注意事項

- 制作・販売・営業・売上管理は各社ごとに
 - ◆ コンテンツの作成・登録、ライセンスの発行
 - ◆ 他社ビューアへの電子教科書提供
 - ◆ 書店・大学への営業
 - ◆ 売上管理
- サポート・要望管理は参加社間で情報共有
《オプションプラン》……………
 - 管理システム運用サポート：
 - **10**万円/年
 - オーサリング代行：
 - 1点当たり**3**万円

我々出版社は電子書籍でもっと
主体的に動けるのではないか？

この考えを現実のものとするべく

eTextbooks.jpは進んでいきます

《お問い合わせはこちらまで》

大修館書店 デジタル事業開発部

山口隆志(ヤマグチ・タカシ)

e-mail: t-yamaguchi@taishukan.co.jp

tel: 03-3868-2603

特設ページ:

<https://www.taishukan.co.jp/etextbooksjp/>

noteクリエイターページ:

<https://note.com/etextbooksjp>

